

KSKS N協ニュース

NO. 188 2024年1月号



謹んで新年のご挨拶を申し上げます

ここ数年新型コロナウイルスとの闘いに追われてきました。我が法人は1990年の設立以来、障がい者支援に取り組み、2000年から高齢者介護に取り組んできましたが、どちらの施設も既往歴のある方が多く、コロナ感染は致命傷になりかねませんでした。クラスターが発生した時の職員は、自らもコロナ感染に怯えながら、介護・支援の手を緩めることなく奮闘してくれましたことに心の底からよく頑張ってくれたと感謝の気持ちで一杯です。

コロナ感染も第5類となり下火になってきたと思っていましたら、今度はインフルエンザが強まり警戒を解くことができません。このように福祉の現場は体を張っての厳しい仕事であるにも関わらず、国の高齢者介護・障害者支援の手は生ぬるいといわざるを得ません。

昨年の12月7日の新聞報道で2022年に介護職から離職する人が、介護職に働き始める人を上回る「離職超過」が起きていたことが取り上げられていました。福祉現場は以前から低賃金(月額平均29万3千円)で人手不足が言われてきました。今年の介護報酬の見直しで6千円ほど賃上げされるそうですが、エッそれだけ！少なくとも全産業の平均(月額36万1千円)水準なみにしなければ人手不足で介護体制は崩壊します。

危機を打開するには介護報酬を抜本的に引き上げなければなりません。ただし今の介護保険制度では介護報酬を引き上げれば、国民が負担する介護保険料や介護利用をする人の負担も連動して大幅に増え、人材難での介護崩壊か負担増での介護崩壊かといわれています。

さらに岸田総理は「異次元の少子化対策」も緊急課題としていますが、その財源は、年金や生活保護の削減、各種の保険料の値上など社会保障費の中でやりくりを考えているようです。

ところで岸田総理は「成長と分配」を謳って総理になりましたが、昨年12月日本銀行が大企業・製造業の業況は3期連続で改善。大企業・非製造業は7期連続で改善と発表しています。「成長」は公約どおりですが、格差解消の「分配」は手付かずの状態です。大企業の内部留保(500兆円超)や株の配当(350兆円超)から社会保障の財源捻出はまったく考えられていないようです。そのうえ防衛予算倍増の付けが重くのしかかってくるでしょう。岸田内閣の支持率は低下の一途です。今年は派閥の裏金問題もあり総選挙になりそうです。国民の怒りを総選挙で晴らしましょう。

最後に本年も施設を利用されている方々の健康第一に、職員と共に頑張ることをお誓い申し上げ、新年のご挨拶といたします。

理事長

山本多美男

第30回 ノーマライゼーション 絵画・創作展

お陰様で盛況のうちに開催出来ました
ご支援ご来場有難うございました



4年振り大盛況の
障がい者ピアノコンサート



作品展示も 初の土日開催もあり
400名以上のご来場をいただきました



来場ご感想

- ・創作・表現活動の発表の場をつくられていることに感動。
- ・もっと発表の場があって良いと思う。
- ・こまかい・丁寧に最後まで頑張って仕上げる姿が素晴らしい。
- ・ピアノ演奏良かったです。心が洗われる気がしました。
- ・毎年楽しみにしています。今後も楽しみ。
- ・ピアノ演奏 楽しかったです。



来場ご感想

- とても感性豊かで感動
- 毎年新しい素材で作品が展示されており、発想や想像力に驚く
- どの作品も作者の思いがあふれています
- 初の土日開催でゆっくり来ることが出来ました
- 同じテーマでも個々に違うとらえ方がありステキです



来場ご感想

- 作品が綺麗です
- 描写がすごい丁寧な作品が多かったです
- 素晴らしかったです
- 個性があって楽しかった
- 明るい雰囲気良かった
- 力強い作品、優しい色使いに感動
- very very good
- 皆さんの個性に元気をもらいました

- もっと多くの人に伝えたい
- 定期的開催してほしい
- グッズなども販売してほしい
- これからもそれぞれの素敵な作品活動で世界を彩ってください
- 「みんなちがってみんないい」の象徴だと改めて思う
- もっと多くの人に広がって作品を見てほしい
- 応援してます



第30回ノーマライゼーション絵画・創作展
ご支援ありがとうございました

(2023年11月30日以降分)
敬称は略させていただきます

- *大石田 雄二
- *主計管工(株)
- *森川 正

- *川嶋 絢
- *中村

- *佐々木 基文
- *松下 三郎

合計 7名 153,000円